

野菜類－葉菜類－しそ科葉菜類(えごま(葉)を除く)－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名
						ハ ス モ ン ヨ ト ウ
1	プレバソンフロアブル5	抑制	普	クロラントラニリプ ロール	28	○

野菜類－葉菜類－しそ科葉菜類(バジルを除く)－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名
						ハ ス モ ン ヨ ト ウ
1	カスケード乳剤	抑制	普	フルフェノクスロン	15	○

野菜類—しそ(花穂)—殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名		
						ア ブ ラ ム シ 類	ア ザ ミ ウ マ 類	ハ ス モ ン ヨ ト ウ
1	アグロスリン乳剤	抑制	劇	シベルメトリン	3A	○	-	-
2	アルバリン顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-
3	スピノエース顆粒水和剤	抑制	普	スピノサド	5	-	○	-
4	スタークル顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-
5	プレオフロアブル		普	ピリダリル	un	-	-	○

野菜類－葉菜類－モロヘイヤ－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病虫害雑草名
						灰色 かび 病
1	アミスター20フロアブル		普	アゾキシストロビン	11	○

野菜類－葉菜類－モロヘイヤ－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病虫害雑草名						
						ネギ アザ ミウマ	アザ ミウマ 類	ハス モン ヨトウ	ハダ ニ類	アブ ラム シ類	カメ ムシ 類	マメ コガ ネ
1	アクタラ顆粒水溶剤	抑制	普	チアトキサム	4A	○	-	-	-	-	-	-
2	アドマイヤーフロアブル		劇	イミダクロプリド	4A	-	○	-	-	-	-	-
3	アフーム乳剤	抑制	普	エマメクチン安息香 酸塩	6	-	-	○	-	-	-	-
4	コテツフロアブル		劇	クロルフェナピル	13	-	○	-	-	-	-	-
5	コロマイト乳剤	抑制	普	ミルベメクチン	6	-	-	-	○	-	-	-
6	スピノエース顆粒水和剤	抑制	普	スピノサド	5	-	○	-	-	-	-	-
7	スミチオン乳剤		普	MEP	1B	-	○	-	-	○	○	○
8	ダニトロンフロアブル		普	フェンピロキシメート	21A	-	-	-	○	-	-	-
9	トレボン乳剤	抑制	普	エトフェンプロックス	3A	-	○	-	-	-	-	-
10	プレバゾンフロアブル5	抑制	普	クロラントラニリプ ロール	28	-	-	○	-	-	-	-

13-(57) モロヘイヤ（野菜類、葉菜類に登録のある農薬も使用可能）

病害虫名	防除方法	参考事項
葉ぶくれ病	生育期 1. 被害葉は感染源となるので、見つけ次第摘除してほ場外で処分する。 2. 二次感染を防ぐため、頭上かん水をせずに株元かん水を行う。 3. ハウス内が多湿条件にならないようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ハウス栽培で発病が見られる。 ・多湿条件下が発病しやすい。 ・紫外線カットフィルムの展張や被覆資材の汚れによる紫外線量の低下は発病を助長する。
黒星病	生育期 1. 被害株や被害残渣は感染源となるので、見つけ次第適正に処分する。 2. ハウス内が多湿条件にならないようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・降雨が続くと発生が多くなる。 ・葉、茎、さく果に発生する。 ・葉で多発すると黄化し、落葉する。 ・被害植物残渣上での越冬や種子伝染により、翌年、分生子の飛散により伝染する。
ハダニ類	生育期 ハダニ類は葉裏に寄生しているため、薬液が葉裏にかかるように丁寧に薬剤散布を行う。 (ハダニ類防除対策の項の項参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統の薬剤を続けて使用しない。
アザミウマ類	生育期 1. ハウスやほ場周辺の除草を徹底し、発生源を除去する。 2. 発生初期に薬剤散布を行う。 (ミカンキイロアザミウマ、ミナミキイロアザミウマの防除対策の項参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・成幼虫は食害痕のある新芽の部分に生息していることが多いので、新芽部分をルーペ等で観察して発生を確認する。

野菜類－根菜類－にんじん－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病虫害雑草名					
						黒葉枯病	うどんこ病	斑点病	軟腐病	しみ腐病	根腐病
1	Zボルドー		普	銅	M1	○	-	-	-	-	-
2	アミスターオブティフロアブル		普	1.TPN 2.アゾキシストロビン	M5、11	○	○	○	-	○	-
3	アリエッティ水和剤		普	ホセチル	P7	○	-	-	-	-	-
4	カスミンボルドー		普	1.カスガマイシン 2.銅	24、M1	○	-	-	○	-	-
5	カンタスドライフロアブル		普	ボスカリド	7	○	-	○	-	-	-
6	コサイド3000		普	銅	M1	○	-	-	-	-	-
7	シグナムWDG		普	1.ピラクロストロビン 2.ボスカリド	11、7	○	○	○	-	-	-
8	ジマンダイセン水和剤		普	マンゼブ	M3	○	-	-	-	-	-
9	スターナ水和剤		普	オキシソニック酸	31	-	-	-	○	-	-
10	ストロビーフロアブル		普	クレソキシムメチル	11	○	-	○	-	-	-
11	ダコニール1000		普	TPN	M5	○	-	-	-	-	-
12	トリフミン水和剤		普	トリフルミゾール	3	-	○	-	-	-	-
13	ベルコートフロアブル		普	イミノクタジン	M7	○	○	○	-	-	-
14	ポリオキシシンAL水和剤		普	ポリオキシシン	19	○	-	-	-	-	-
15	ユニフォーム粒剤		普	【*1】	11、4	-	-	-	-	○	○
16	ヨネポン水和剤		普	ノニルフェノールスルホン酸銅	M1	○	○	○	-	-	-
17	ロブラール水和剤		普	イプロジオン	2	○	-	○	-	-	-

【*1】 1.アゾキシストロビン 2.メタラキシル及びメタラキシルM

野菜類－根菜類－にんじん－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名											
						コガネムシ類幼虫	ヨトウムシ	アブラムシ類	ハモグリバエ類	ネキリムシ類	ネコブセンチュウ	ネグサレセンチュウ	キアゲハ	ヤサイゾウムシ	ハスモンヨトウ		
1	アクタラ粒剤5	抑制	普	チアメキサム	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	アグロスリン乳剤	抑制	劇	シペルメトリン	3A	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	アドマイヤー顆粒水和剤		劇	イミダクロプリド	4A	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	アフーム乳剤	抑制	普	エマメクチン安息香酸塩	6	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○
5	アルバリン粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
6	アルバリン顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	ガードベイトA	抑制	普	ペルメトリン	3A	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
8	カスケード乳剤	抑制	普	フルフェノクスロン	15	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	スタークル粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
10	スタークル顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	スピノエース顆粒水和剤	抑制	普	スピノサド	5	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
12	ダイアジノン粒剤5		普	ダイアジノン	1B	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
13	ネマキック粒剤		普	イミシアホス	1B	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-
14	ネマトリンエース粒剤		普	ホスチアゼート	1B	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-
15	フェニックス顆粒水和剤	抑制	普	フルベンジアミド	28	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	ベネビアOD	抑制	普	シアントラニリプロール	28	-	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○
17	フォース粒剤	抑制	劇	テフルトリン	3A	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
18	マラソン乳剤		普	マラソン	1B	-	-	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-

野菜類－根菜類－ごぼう－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名				
						黒斑病	黒斑細菌病	菌核病	うどんこ病	黒あざ病
1	オーソサイド水和剤80		普	キャプタン	M4	○	-	-	-	-
2	カスミンボルドー		普	1. カスガマイシン 2. 銅	24、M1	-	○	-	-	-
3	カッパーシン水和剤		普	1. カスガマイシン 2. 銅	24、M1	-	○	-	-	-
4	トップジンM粉剤DL		普	チオファネートメチル	1	-	-	○	-	-
5	トリフミン水和剤		普	トリフルミゾール	3	-	-	-	○	-
6	モンガリット粒剤		普	シメコナゾール	3	-	-	-	-	○
7	ユニフォーム粒剤		普	【*1】	11、4	-	-	-	-	○
8	リゾレックス粉剤		普	トルクロホスメチル	14	-	-	-	-	○
9	ロブラール水和剤		普	イブロジオン	2	-	-	○	-	-

【*1】 1. アゾキシストロピン 2. メタラキシル及びメタラキシルM

野菜類－根菜類－ごぼう－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名				
						アブラムシ類	ネキリムシ類	ヒヨウタンゾウムシ類	ネグサレセンチュウ	ネコブセンチュウ
1	アグロスリン乳剤	抑制	劇	シベルメトリン	3A	○	-	○	-	-
2	アデオオン乳剤	抑制	普	ベルメトリン	3A	○	-	-	-	-
3	アドマイヤー1粒剤		普	イミダクロプリド	4A	○	-	-	-	-
4	アドマイヤーフロアブル		劇	イミダクロプリド	4A	○	-	-	-	-
5	エルサン乳剤		劇	PAP	1B	○	-	-	-	-
6	オルトラン粒剤		普	アセフェート	1B	○	-	-	-	-
7	ガードベイトA	抑制	普	ベルメトリン	3A	-	○	-	-	-
8	トクチオン細粒剤F		普	プロチオホス	1B	-	○	○	-	-
9	ネキリエースK		普	イソキサチオン	1B	-	○	-	-	-
10	ネマトリンエース粒剤		普	ホスチアゼート	1B	-	-	-	○	○
11	ビーラム粒剤		普	フルオピラム	I-,F:7	-	-	-	○	○
12	フォース粒剤	抑制	劇	テフルトリン	3A	-	○	-	-	-
13	マラソン乳剤		普	マラソン	1B	○	-	-	-	-

13-(59) ごぼう（野菜類、根菜類に登録のある農薬も使用可能）

病害虫名	防除方法	参考事項
黒あざ病 根腐病 萎凋病	播種前 1. 発生地では連作を避ける。 2. 土壌消毒を行う。（土壌くん蒸剤の項参照） 生育期 発生が予想されるほ場では早掘りを行う。	・秋まきは7月下旬頃から急増する。 ・黒あざ病（リゾクトニア菌） 根腐病（ピシウム菌） 萎凋病（フザリウム菌）
ヒョウタンゾウムシ類	生育期 1. 被害の多いほ場は早掘りを行う。 2. 成虫が土塊の下や雑草の株元で越冬するので、畦や周辺の雑草防除を行う。 3. 発生圃場では連作を避ける。輪作にはヒョウタンゾウムシが好むラッカセイ・ニンジン・ネギ等の作付けを避ける。	・越冬成虫が、4月頃になると地中から発生する。その後地中に産卵し、幼虫が根部を加害する。 ・越冬成虫の発生時期に株元に薬剤を散布し、地上部を歩行する成虫に接触させて防除し、翌年の幼虫密度を低下させる。
ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ	播種前 1. 緑肥作物を栽培し、発生を抑制する。 2. 土壌消毒を行う。（土壌くん蒸剤の項参照） （ネグサレセンチュウの防除対策の項、ネコブセンチュウの防除対策の項参照）	・エンバク（ニューオーツ、ハイオーツ等）などを輪作することにより、ネグサレセンチュウの被害を抑制することができる。

野菜類－葉菜類－せり科葉菜類－パセリ－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名			
						うどんこ病	斑点病	軟腐病	アブラムシ類
1	ヨネポン		普	ノニルフェノールスルホン酸銅	M1	○	○	○	○

野菜類－葉菜類－せり科葉菜類－パセリ－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容を確認してください。
更新年月日:2023/11/10

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名			
						アブラムシ類	アザミウマ類	ハスモンヨトウ	ヨトウムシ
1	アドマイヤー1粒剤		普	イミダクロプリド	4A	○	○	-	-
2	アフーム乳剤	抑制	普	エマメクチン安息香酸塩	6	-	-	○	-
3	カスケード乳剤	抑制	普	フルフェノクスロン	15	-	-	○	-
4	スピノエース顆粒水和剤	抑制	普	スピノサド	5	-	-	-	○
5	プレバソンフロアブル5	抑制	普	クロラントラニリプロール	28	-	-	○	○
6	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	○	-	-	-